

新型コロナワクチン接種について

問 福祉課 プラチナ社会政策室 ☎85-7056 📠92-7184 ✉fukushi@town.kiyama.lg.jp
電話・来庁は午前9時～午後5時：土日祝日休 ※来庁時は「接種券」をご持参ください。

9月も新型コロナワクチンの集団及び個別接種を引き続き実施します。接種をご希望の方で、まだ予約をされていない方は早めのご予約をお願いします。予約をする際は、2回目接種日※のご都合等も確認をお願いします。

※2回目接種日…1回目接種日から3週間後の同じ曜日・時間帯

右のQRコードを読み取り、予約画面(ライン)に進んでください。



ワクチン接種
予約用 QR コード

ワクチンの接種・予約状況について(8月22日時点)

8月22日時点の新型コロナワクチン接種・予約状況(1回目接種)について、下表のとおり報告します。

年齢	対象者	接種者	予約者	計	率(%)
65歳以上	5,729	5,184	33	5,217	91.1
60～64歳	1,246	1,006	41	1,047	84.0
50歳代	2,012	1,100	389	1,489	74.0
40歳代	2,014	814	507	1,321	65.6
30歳代	1,867	627	430	1,057	56.6
20歳代	1,751	472	384	856	48.9
16～19歳	569	185	113	298	52.4
12～15歳	599	106	146	252	42.1
全体	15,787	9,494	2,043	11,537	73.1

年代別接種・予約率(%)

新型コロナワクチン以外の予防接種との間隔について

新型コロナワクチンとそれ以外の予防接種を受けるときには、右図のとおり2週間あける必要があります。

10月からインフルエンザの予防接種も開始します。他にも年齢により高齢者肺炎球菌予防接種や第5期風しん予防接種など、接種可能な予防接種があります。

新型コロナワクチンとの接種間隔をご確認の上、新型コロナワクチン以外の接種を受けていただきますよう、よろしくお願いいたします。

新型コロナワクチン

2週間あける

新型コロナワクチン以外の予防接種

- ・インフルエンザ予防接種
- ・高齢者肺炎球菌予防接種
- ・第5期風しん予防接種 など

【新型コロナワクチンについて知ってほしいこと】

①新型コロナワクチンは、感染を防止し収束に向かわせる切り札です

接種する新型コロナワクチンは、2回の接種によって、高い効果が認められています(※発症予防効果約95%。なお、インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%)。接種が進む世界の国々では、コロナ収束への効果が現れています。

②ワクチン接種によるメリットが、副反応のリスクより大きいので、接種をお勧めしています

接種後には、体がワクチンに反応して、接種部位の痛みなどの局所反応や、発熱、頭痛などの全身性の反応が生じる可能性があります。これらの反応は、1回目より2回目が多く、年齢が上がるにつれて頻度が低くなるようです。接種は体調が悪くないときに受け、接種後はゆっくり過ごすようにしましょう。接種後の痛みや発熱に対しては、市販の解熱鎮痛剤で対応いただくことも考えられます。

アナフィラキシーなどの重いアレルギー反応を起こしたことがある方は、通常より長く(30分間)経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行っています。

③新型コロナワクチンは、ご自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります

多くの方に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。

(出典：首相官邸ホームページ)